

「国保の人間ドック」

追加受付を開始！

～わずかな自己負担で安心を～

国民健康保険で、4月から実施している「外来人間ドック」の定員数に少し余裕が出来ました。

このため、今回20人程度の追加申込みを受付けます。

検診を希望される人は、急いで申込んでください。

●対象者

国民健康保険の被保険者であって、年齢が40歳から69歳までの人が対象です。

●費用

検診費用11人当たり25、800円程度で、この内8割を国保から負担し、自己負担は、5、160円程度になります。

●申込みは

印鑑と保険証を持って、市民課国民健康保険係又は、各支所の窓口で申込んでください。受付が済むと「外来ドック利用券」を発行します。この利用券を持って、次の医療機関のうちから、あなたの希望する医療機関で受診してください。

●受診は2月末までに

利用券で受診する場合には



64年2月末までに必ず受診してください。

2月末までに受診されない場合は、受診を希望されないものとして取扱います。

●医療機関

- 天野医院
- 岡田病院
- 河辺眼科
- 木下皮膚科
- 國司眼科
- 斎藤医院
- 俵山病院
- 吉村内科
- 斎木病院
- 宮尾医院
- 長門総合病院
- 持山外科整形外科医院

※詳細問合せ先

国民健康保険係

(☎内線141)

人間としての尊厳を認めよう

人権週間 12月4日～10日

いじめ、体罰やプライバシーの侵害、同和問題など、さまざまな形で人権問題が表面化しています。こうした問題は、一人ひとりの考え方、心理的な作用によって生じるといわれています。しかし、こうした差別や虐待は、同じ人間である以上許される行為ではありません。わたしたちは、もつと人権について真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

より幸福な人生を送るために

人権とは、一口にいえば、「日々の生活の中で、より幸福な人生を送るために、人間

としてもっている当然の権利」といえます。ところが、「自分の権利は主張し、相手に認めさせようとするが、相手の権利は認めない」というような最近の風潮は、少なからず他人の人権を侵害することがあります。「意識せずにやったことだ」と言っても、相手の心には一生忘れられない傷となつて残るかもしれません。

そこです、「他人にも人権があり、自分の人権を主張する権利は、他人の人権を尊重する義務と論理的に結びついている」という人権の基本を、一人ひとりが自覚することが大切です。言葉を換えれば、人間としての尊厳を認めることだといえるでしょう。

山口地方事務局と山口県人権擁護委員会連合会では、

◎「社会の国際化と人権」世界人権宣言40周年」

◎「国際化時代にふさわしい人権を育てよう」

を重点目標に掲げて、人権問題の解消に努力しています。



国民年金保険料の

納め忘れはありませんか

今年も残すところあと1か月です。国民年金保険料の納め忘れはないか確かめてみましょう。納め忘れていた人がありましたら、すぐ納めてください。

年金は、「老後」の生活設計の柱であることはもちろんですが、病気や事故などの「もしもの時」の保障でもあります。

『あの時、きちんと保険料を納めていれば...』ということ



第30回短縮マラソン記念大会

参加者募集

●日時 12月11日(日)

スタート 10時

●種目

- 小学生 3 km
- 中学生 6 km
- 高校生 10 km
- 一般
- 29歳以下 10 km
- 30歳代 6 km
- 40歳以上 4 km
- 女子 4 km
- ゆつくり走ろう 3 km

●親子ペア 1.5 km

●参加者

参加種目を完走できる自信のある人

●参加料 1人 150円

●申込み 12月6日(火)までに

体育協会事務局

☎内線 206・207 まで

